第 6 章　工事現場管理基準

６－１　水道工事に伴う道路標識等の設置基準

６－１－１　水道工事を行う場合の道路標識等の設置方法 ･････････････････････ 69

６－１－２　道路標識、補助標識板、表示施設の規格 ･････････････････････････ 72

６－１－３　道路標識板、補助標識板、
表示施設及び防護施設の仕様 ･････････････････････ 73

第 6 章　　工事現場の管理基準

６－１　水道工事に伴う道路標識等の設置基準

６－１－１　水道工事を行う場合の道路標識等の設置方法

道路標識等の設置方法についてはこの基準によるものとする。

なお、この基準に規定されていない事項については、工事監督員の指示によるものとする。

１．　通行止めを行って水道工事を施工する場合

（1）　片側交互通行の場合

①　必要とする標識等

ア．　標識等　道路工事中（213）徐行（329）お願い（様式２）占用工事中（様式３）及び補助標識　片側交互通行予告標示板

イ．　防護施設等　バリケード、標識、信号機及び赤ランプ（又は黄色灯）

注　片側交互通行予告標示板について

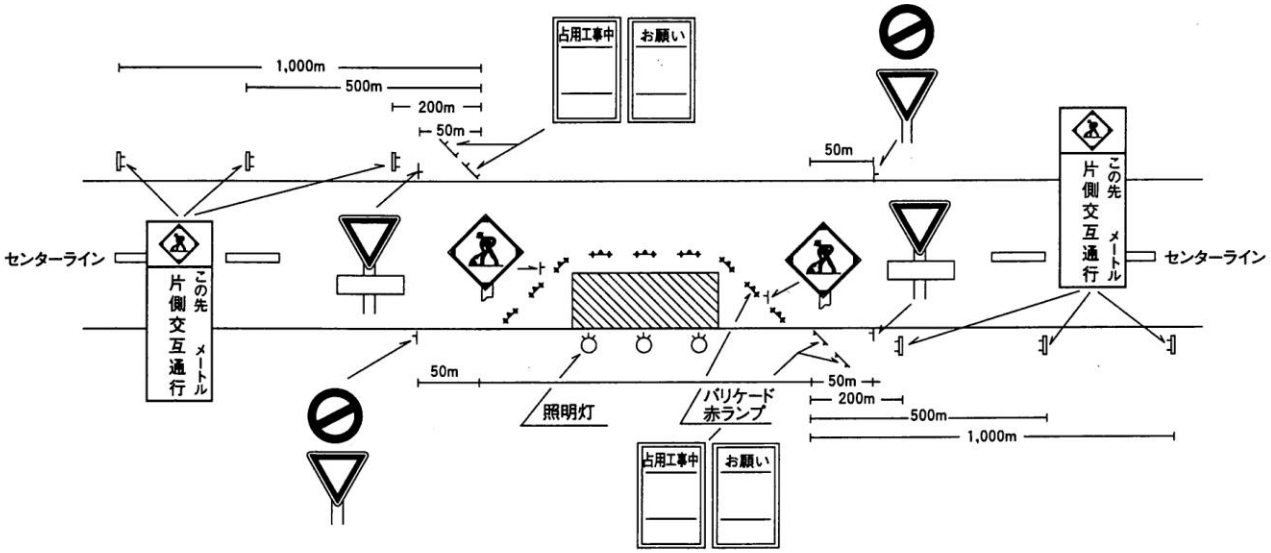
１．非分離２車線道路において片側交互通行制限によって施工するすべての工事箇所に設置される。

２．工事施工箇所が移動する場合は、予告看板の設置位置についても移動させることとする。

３．設置位置は、原則として、該当工事現場の車両の停止位置の手前から 200 メートル、500 メートル及び 1,000 メートルの地点に設置させる。

ただし、該当工事箇所付近に交差点、カーブ等危険な道路環境のある場合は、100 メートル付近の効果のある場所にも設置させる。

②　設置の方法



注　１．　水道工事を夜間に行う場合及び工事中のまま現場を夜間放置する場合には、赤ランプ（又は黄色灯）及び照明灯を必ず設置すること。

２．　バリケード及び標柱は、状況に応じ併設すること。

３．〔例〕は進行方向に対する最小限の設置例を示しているので、反対方向についてもこれと同様とし、現地の状況に応じ適宜増設すること。

４．　工事箇所が移動した場合には、これに応じ標識等を設置例に適合させること。

（1）全面通行止めの場合

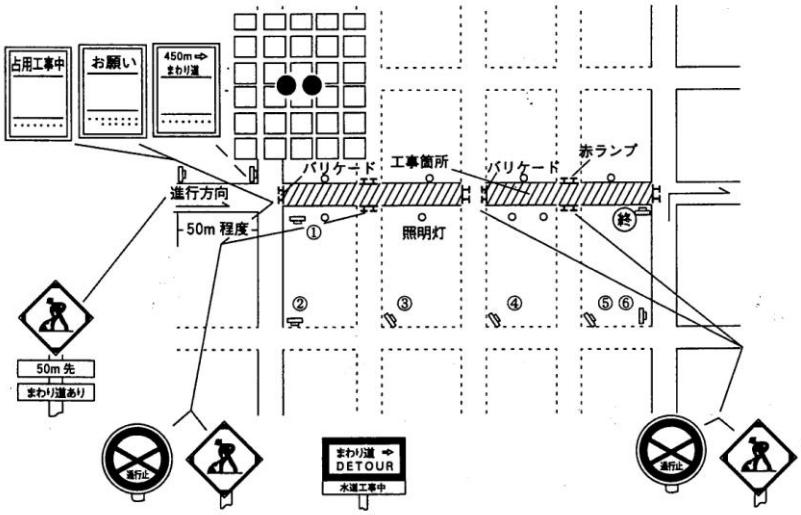
①　必要とする標識

ア．　標識等　道路工事中（213）徐行（329）通行止め（301）まわり道（様式１）お願い（様式２）及び占用工事中（様式３）及び補助標識

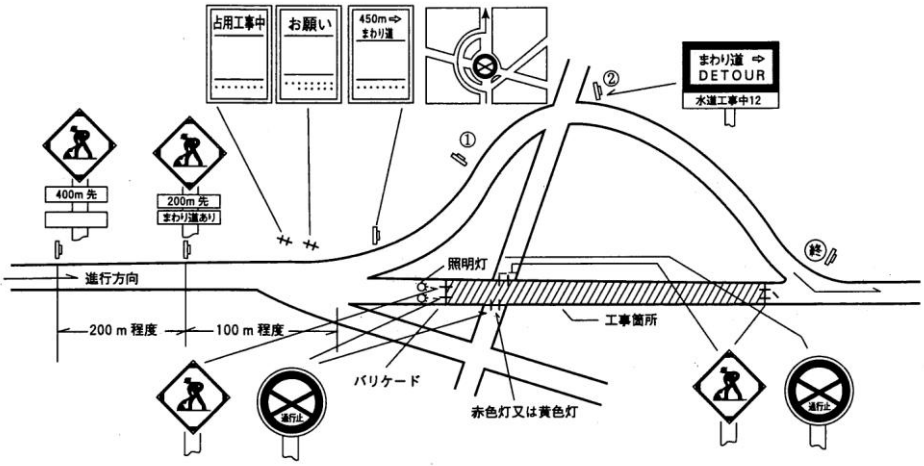
イ．　防護施設等　バリケード、標柱及び夜間にあっては赤色灯（又は黄色灯）

②　設置の方法

〔例〕市街地の場合



〔例〕郊外の場合



注　1．　水道工事を夜間に行う場合、及び工事中のまま現場を夜間放置する場合には、赤色灯（又は黄色灯）及び照明灯を必ず設置すること。

2．　バリケード及び標柱は、状況に応じ併設すること。

3．〔例〕進行方向に対する最小限の設置例を示しているので、反対方向についてもこれと同様とし、現地の状況に応じ適宜増設すること。

4．　工事箇所が移動した場合には、これに応じ標識等を設置例に適合させること。

5．　通行止区間内に他の道路が交差している場合は、その道路の交通量その他の事情を考慮し、最低一直線の交通が確保できるよう努めること。

2．　道路上で軽易な工事（作業）を行う場合

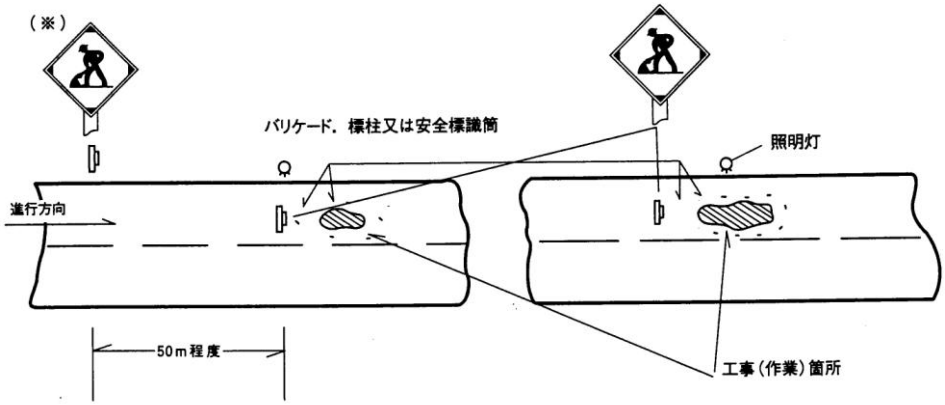
（1）必要とする標識等

①　標識等　道路工事中（213）及び補助標識

②　防護施設等　バリケード、標柱及び安全標識筒（セフティーコーン）

（2）設置の方法

〔例〕



注　1．　軽易な工事（作業）とは、道路の清掃、ライン引き、除草、軽易な維持、修繕を行う場所をいう。

2．　工事（作業）が夜間に及ぶ場合、赤ランプ（黄色灯でも可）及び照明灯を必ず設置すること。

3．　（※）印を付した道路工事（213）の標識は、道路の見通し、交通量状況に応じ設置すること。交通量の多い箇所で軽易な工事（作業）を行う場合は、特に車両の進行に支障とならないようバリケード又は標柱等の設置に留意すること。

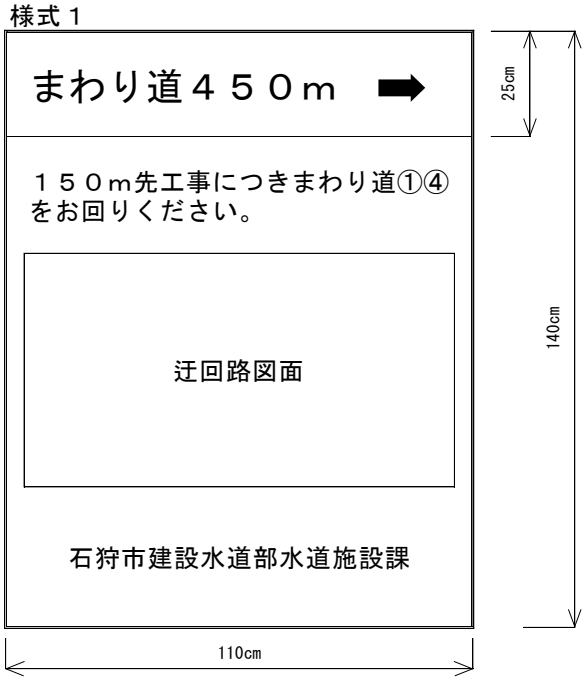
６－１－２　道路標識、補助標識板、表示施設の規格

標識板等の方式は他の通達等に定めるもののほか、次に揚げるものとする。

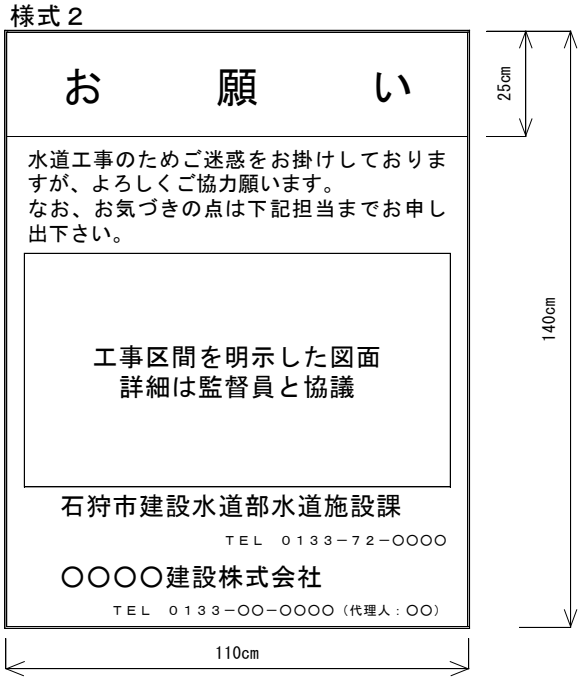
なお、警戒標識は、１．６倍、規制標識は１．５倍を原則とする。ただし、道路の状況等により前者を１．３倍、後者を１．０倍とすることができる。

また、公共工事への市民の関心の高さを受け、公共工事のコストや内容・目的などの情報を市民に分かりやすく提供し、コスト意識を高める事を目的とするため、1,000 万円以上の工事について、建設コスト情報の看板を設置する。（様式６）

様式１

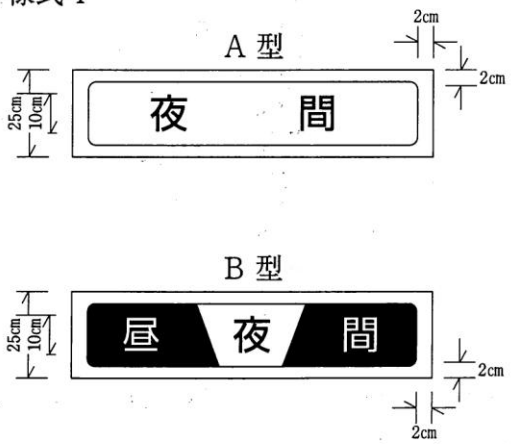


様式２



様式３

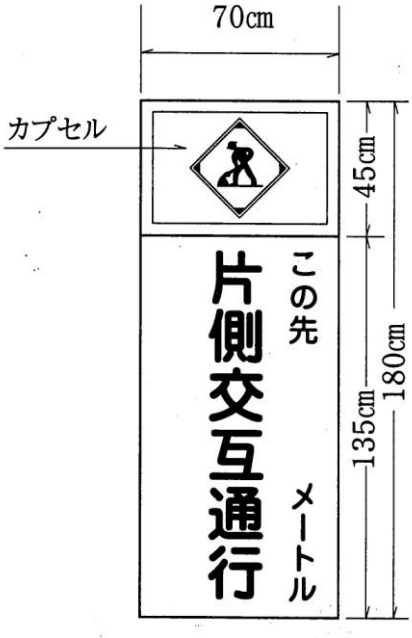
様式４



注　占用工事中（様式３）の上に付ける。
作業が夜間のみの場合はＡ型を、昼夜間の場合は、Ｂ型を用いる。

様式５

様式６



片側通行制限予告看板

１．下地は、白色とする。

２．文字は、この先〇メートルは青文字、片側交互通行は赤文字とし、蛍光ペイント又は反射シートとする。

３．上部標識は、白色の下地に青で縁どりした板に標識令 213（全面カプセルレンズを使用）を明示すること。

６－１－３　道路標識板、補助標識板、表示施設及び防護施設の仕様

１．　道路標識及び補助標識板

（1）　材　料

針葉樹の２等材又はこれと同等以上のものを十分乾燥したもので、気温、湿度の変化に耐えることができるものとし、その厚さは２．５cm とする。

（2）　塗　装

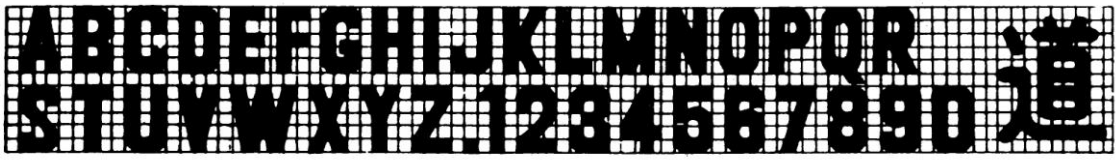
良質のペンキを２回塗るものとする。

（3） 長期にわたり変色しないものを用いる。

なお、標識板はまわり道（120－B）を除いて、反射材料を用いるものとする。又、補助標識板であっても反射材料を使用するのが望ましい。但し、夜間において遠方から確認出来るよう照明装置を施した場合はこの限りではない。

（4） 文字の形

文字の形は次に図示した物を基準とする。



（5） 文字の大きさ等

寸法の図示されている文字及び記号の大きさは、図示の寸法を基準とする。

（6） 色　彩

図示の色を用い、詳細については(3)によるものとする。

（7） 寸　法

図示の寸法を基準とする。

（8） 取り付け

① ボルト止めとし座金及びナットは、鉄製亜鉛メッキしたものとする。ただし、工事が短期間に完成するものについては、釘止めとすることができる。

② 標識板は２枚継ぎとし、両端にはそり止めを付け、でき上りは所定の形状、寸法とする。

（9） 製品の検査

検査結果、次の①から⑥までに該当するものは不合格とする。

① 所定の形状、寸法と異なるもの

② 文字（数字を含む）、記号等の表示が正確、鮮明でないもの

③ 色彩、色調又は光沢が不良又は不均一なもの

④ ひび割、はがれ、しわ、その他の著しい欠点があるもの

⑤ 板の継目に隙間、または食い違いがあるもの

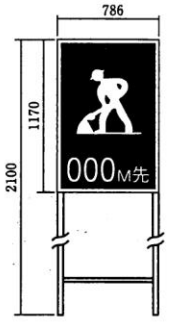
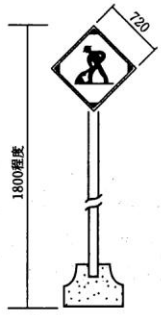
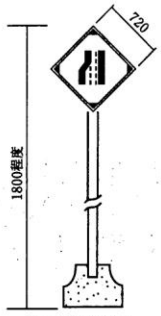
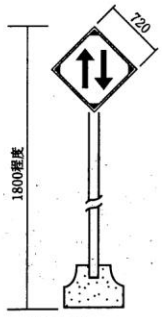
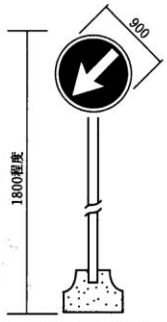
⑥ 板にゆがみが生じているもの

２． 表示施設及び防護施設

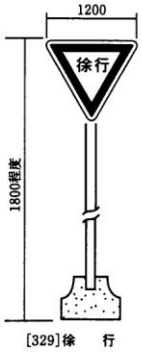
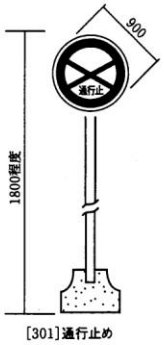
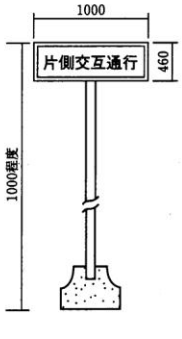
材料、塗装、顔料、文字の形、文字の大きさ、色彩、寸法、取付け及び製品の検査については、図示の例及び前記１基準に準ずるものとする。

但し、顔料については、表示施設にあっては、様式－１の上１行（例えば、まわり道 450m⇒）及び様式－３上１行の占用工事中及び様式－５の上１行の工事標識は、反射材料を用いるものとする。

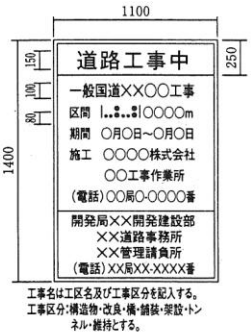
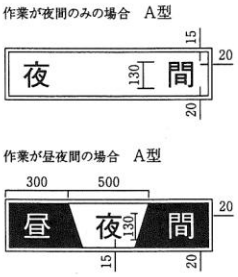
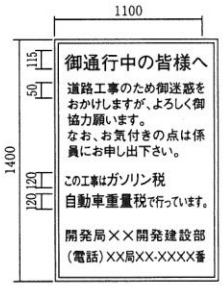
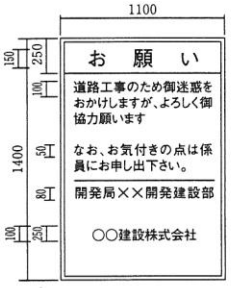
但し、夜間において遠方から照明装置を施した場合はこの限りではない。

記　号	①	②	③	④	⑤
名　称	工事箇所予告標示板	警戒標識(213)	警戒標識(211)又は(212)	警戒標識(212-2)	規制標識(311-E)
様式 および 標準寸法 (単位mm)		 [213] 道路工事中	 [211]車線数減少 [213]　幅員減少	 [212の2] 二方向交通	 [311-E]指定方向外 進行禁止
注	工事箇所標示は、地を青色、文字および図、縁を白色、反射シート、貼りつけとする。 (固定式)	拡大率1.6倍を標準とする。(全面反射)	拡大率1.6倍を標準とする。(全面反射)	拡大率1.6倍を標準とする。(全面反射)	拡大率1.5倍を標準とする。(全面反射)

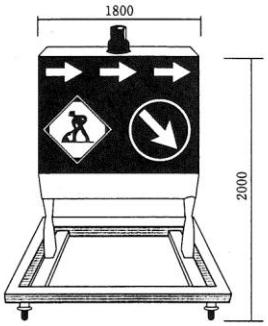
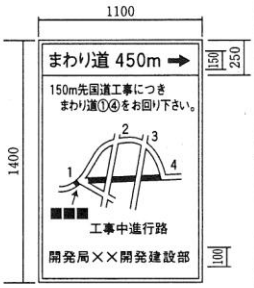
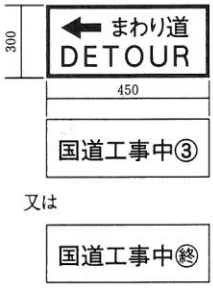
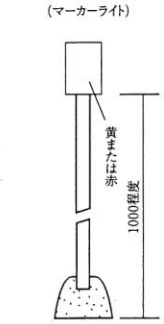
注意事項　1. 標識支柱コンクリート受台の形状寸法は30cm(H)×30cm(W)×30cm(B)以上とする。

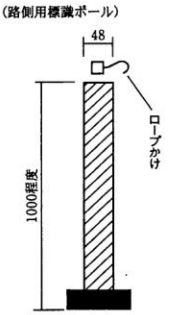
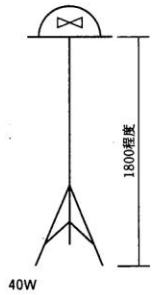
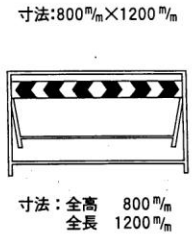
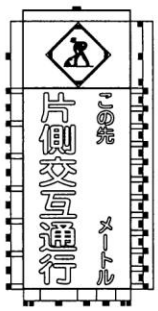
記　号	⑥	⑦	⑧
名　称	規制標識(329)	規制標識(301)	標　示　板
様式 および 標準寸法 (単位mm)	 [329]徐　行	 [301]通行止め	
注	拡大率1.5倍を標準とする。(全面反射)	拡大率1.5倍を標準とする。(全面反射)	地を白色とし、縁及び文字を青色、反射式とする。 (全面反射)

注意事項　1. 標示板支柱コンクリート受台の形状寸法は30cm(H)×30cm(W)×30cm(B)以上とする。

記　号	⑨		⑩	
名　称	工事名標示板	夜間作業又は昼夜兼行作業の掲示板	a　お願い標示板	b　お願い標示板
様式 および 標準寸法 (単位mm)				
注	(1)　色彩は「道路工事中」は赤色その他の文字及び線を青色、地を白地とする。 (2)　縁の余白は2cm、縁線の太さは1cmとする。 (3)　「道路工事中」の文字に反射装置を施すものとする。 (4)　工事期間については、交通上支障を与える実際の期間を記入するものとする。 (5)　河川、その他工事の場合は当該工事名を記入するものとする。 (6)　区間、工事等に変更があった場合は直ちに修正するものとする。 (メラミン焼付)　(固定式)	(1)　工事名標示板の真上に標示するものとする。 (2)　色彩は、縁及びA型の地、B型の「昼」及び「間」の地文並にB型の中央部の地を白色とし縁線及びA型の文字、B型の左右の地、及び「夜」の文字を青色とする。 (3)　線の余白は2cm、縁線の太さは1.5cmとする。 (メラミン焼付)　(固定式)	色彩は「御交通中の皆様へ」は赤色その他の文字及び線を青色、地を白色とする。 (メラミン焼付)　(固定式)	色彩は「お願い」は赤色その他の文字及び線を青色、地を白地とする。 (メラミン焼付)　(固定式)

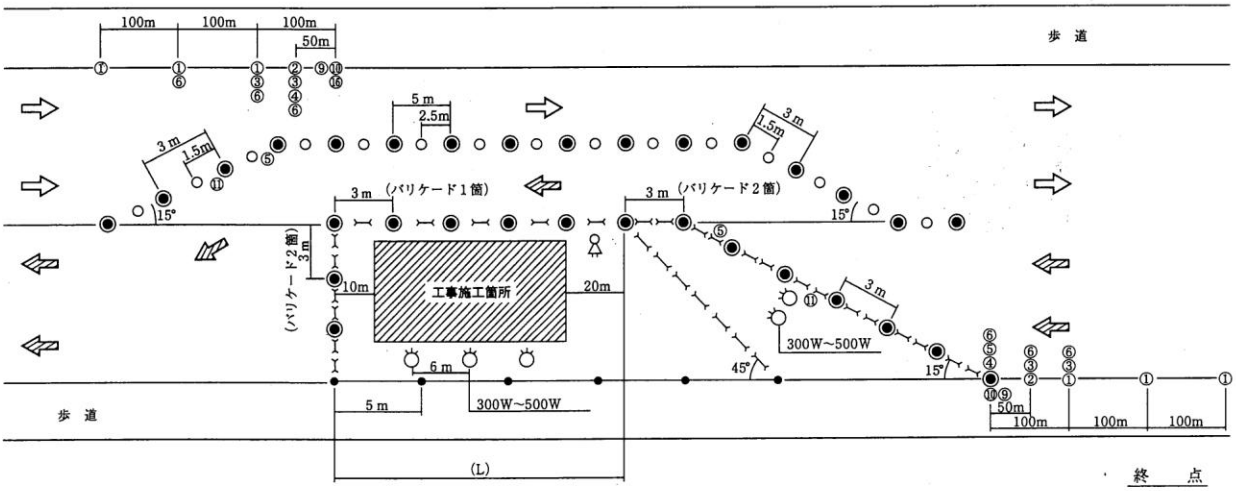
注意事項　1. 標示板支柱コンクリート受台の形状寸法は30cm(H)×30cm(W)×30cm(B)以上とする。

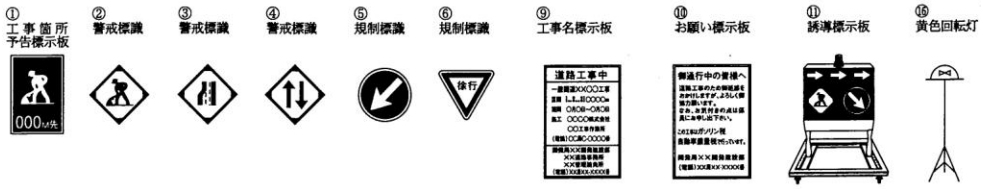
記　号	⑪	⑫	⑬	⑭
名　称	誘導標示板	まわり道案内標示板	まわり道標識(120-A)	保　安　灯
様式 および 標準寸法 (単位mm)				
注	(1)　内部照明するものとし矢印「←」は点滅式とする。 (2)　標示板頂部には視認距離200m以上の効果をもつ点滅式黄色注電灯を設置する。	(1)　色彩は、矢印を赤色、その他の文字及び記号を青色、地色を白色とする。 (2)　縁の余白は2cm、縁線の太さは1cmとする。 (3)　「まわり道450m」又は→の文字もしくは記号に反射装置を施すものとする。 (メラミン焼付、銅製支柱付) (固定式)	字体、文字、地色は⑫に同じ。 (メラミン焼付)(固定式)	(1)　確認距離が夜間150m以上の効果を持つものであること。 (2)　保安灯の設置間隔は3mを標準とする。 (3V特殊電池用、点滅球付)

記　号	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
名　称	歩　道　柵	回　転　灯	バリケード	セフティーコーン	片側交互通行予告標示板
様式 および 標準寸法 (単位mm)					
注	(1) 柱およびロープは、黒背の縞をほどこすものとする。 (2) ロープの外径は12mm以上とする。 (3) 柱間隔は約5mとする。 (コンクリート台付)	確認距離200m以上の効果をもつ黄色回転灯とする。 (三脚台～鋼管製　メラミン焼付)	(エプロンの内黄色の部分が光る)	ラバー製、反射式(夜光) (黄色の部分が光る)	(1) 色彩は、「この先○○メートル」は青色反射シート「片側交互通行」は赤色反射シート、地色を白色とする。 (2) 上部の縁線は青色、②213の道路工事中はカプセルレンズ、地色を白色とする。 (3) メートル数は標準で200、500、1000とする。 (メラミン焼付)

起　点

4車線：片側全車線閉塞（a、b、c作業）



終　点

注意事項　1．a作業、保安灯は全てセーフティコーンとして照明灯は除く。
2．b作業、照明灯は除く。
3．工事箇所が移動する場合は①⑨⑩は移動しない。